

水平線

めあて

『水平線』に描かれた情景を想像し、音読しよう。

☆教科書10・11ページを開きましょう。

☆くり返されている表現がいくつかあります。その表現を書き出しましょう。

--	--	--	--

☆ 「……ある」のように、くり返されている言葉の響きに
気を付けて、情景が伝わるように、音読しましょう。

ふりかえり

情景が伝わるように音読することができたかを◎○△で
自己評価し、その理由を書きましょう。

自己評価

理由

--

--

うぐいす

めあて

『うぐいす』に描かれた情景を想像し、音読しよう。

☆ 教科書12ページを見て、『うぐいす』を書き写しましょう。

☆ 『うぐいす』に描かれた情景や作者の気持ちが伝わるような読み方を考えて、書き写した詩に音読記号を書き入れ、音読しましょう。

〈音読記号〉

大きく…

小さく…

ゆっくり～

速く～

間をとるく

長く間をとる《

ふりかえり

情景が伝わるように音読することができたかを◎○△で自己評価し、その理由を書きましよう。

自己評価

理由

いつか、大切なところ

めあて

「しんじょうを読む」といつか
とについて考えよう。

☆ 「p 30 言葉を学ぼう」を読み、教科書に挙げられている言葉のほかに、へしんじょうを表す言葉には、どんな言葉があるかを考え、三つ以上書きましよう。

(Empty box for student input)

☆ 右に挙げた言葉の一つを用いて、短文を作りましよう。
(主語を必ず入れること)

(Empty box for student input)

☆ 「p 31 ここが大事」を読み、「しんじょうを読む」ということについて、()にあてはまる言葉を書きましよう。

登場人物のしんじょうは、() () () ()

しぐさ、() () () () () () ()

などによって、表現されています。

しんじょうを読むときには、次のような作者のくふうした表現にも着目して読むことが大切です。

【こつ法的な表現の例】

比喩 () () () () () () () () 倒置

対句 など

いつか、大切なところ

めあて

物語の全体像をとらえよう。

☆ 「p 28 1」たしかめよう」を読んで答えましょう。

(1) 登場人物と中心人物を書き出しましょう。

中心人物

中心人物以外の登場人物(登場する順番に書きましよう。)

(2) 亮太は、はじめと終わりの場面で、何がどのように変わりましたか。

はじめの場面

終わりの場面

